

平成25年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：CRC宇宙線将来計画研究会 英文：CRC workshop for future plans in cosmic ray research
研究代表者	名古屋大学太陽地球環境研究所・教授・伊藤好孝
参加研究者	参加研究者 東京大学宇宙線研究所・所長・梶田隆章 大阪市立大学大学院理学研究科・准教授・荻尾彰一 東京大学宇宙線研究所・教授・中畑雅行 大阪市立大学大学院理学研究科・教授・神田展行 東京大学宇宙線研究所・准教授・瀧田正人 京都大学理学部・准教授・安藤正樹 名古屋大学太陽地球環境研究所・助教・さこ隆志 名古屋大学太陽地球環境研究所・教授・田島宏康 東海大学理学部・教授・西嶋恭司 東京大学宇宙線研究所・教授・手嶋政廣 信州大学理学部・教授・宗像一起 横浜国立大学・教授・柴田禎雄、他CRC会員一同
研究成果概要	<p>本年度も、昨年度に引き続き、CRC内で将来計画を議論するための場として、CRC将来計画タウンミーティングを開催した。昨年度までのCRC将来計画タウンミーティングは、学術会議天文学宇宙物理分科会からの中型計画に関する答申以来に対応するためのものであった。今年度は、その作業に一区切りをつけて、新たにCRC全体の将来計画を議論するスタートラインとして企画した。企画に当たっては、2年にわたる中型計画の議論の最中に取り上げる事が出来なかった要件に焦点を絞ることを念頭においた。ひとつ目は、分野全体に大きくかかわる現時点で進行中および計画として俎上に上がっている大型計画であるKAGRAとHyper-Kamiokandeの二つの計画を、タウンミーティングとしてとりあげ、計画の現状と展望をCRC会員が共有する場を設ける事であった。もうひとつは、規模のクラスにとらわれず新規に提案される将来計画を取り上げることであり、このタウンミーティングに先立ち、これまでほとんど議論のなかった小規模計画を中心に新たな計画提案の公募を行った。</p> <p>タウンミーティングは、本年度3月14日（金）に、東京大学柏キャンパス図書館メディアホールで開催され、KAGARA, Hyper-Kamiokande の他、NEWAGE, LHCfZ, GRAINE, Tax4, DPFなどの諸計画が新たに提案され、議論が行われた。</p>
整理番号	K01